

漆芸美術館だより



コレクション展Ⅲ展示作品より 角康二《スペース・アイ》 2021年 第59回日本現代工芸美術展 文部科学大臣賞

102

コレクション展Ⅲ

わんじま展

2024年度寄贈作品紹介

2025年度友の会会員募集のお知らせ

所蔵作品紹介 ―花のある景色―

他

2025年5月17日発行

コレクション展Ⅲ

会期

2025年5月17日(土) ～ 7月6日(日)

※会期中、館内外の修繕工事を実施する可能性があります。工事内容によっては臨時休館となりますことをご了承ください。決まり次第当館公式ウェブサイト、SNSにてお知らせいたします。

地域の歴史をも形作ってきた輪島の漆芸は、幾重にも連なる困難を乗り越えてきたといえます。大火、戦争、自然災害に見舞われつつも、その都度人々は立ち上がり、技の限りを尽くして堅牢優美の輪島塗を生み出し続けてきました。世界に類のない生産構造と技術力は、今なお絶えることなく受け継がれています。

この地に開館した石川県輪島漆芸美術館は漆文化の発信、集積の拠点となるべく努めてきました。コレクションは輪島にとどまらず国内や海外に広がり、古今の漆芸品にわたっています。本展では「輪島塗」、「輪島の漆芸作家たち」及び、「国内の漆芸」の各分野から、これまで蓄積されてきた所蔵作品の数々を紹介します。

漆の新たな魅力を発見し、親しんでいただく一助となれば幸いです。



浦田正人《見られてる…》2008年
第40回日展



水谷内修《沈金箱「間垣の里」》2008年
第55回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞



松本法子《蒔醬箱「謐」》2008年
第48回東日本伝統工芸展 三越賞



【同時開催】 展示室3
「隠された技をたどる
―夜の地球 Earth at Night―
輪島塗技術保存会によって製作された輪島塗大型地球儀「夜の地球 Earth at Night」
その制作過程で生じた試作品や道具等を紹介し、完成までの足跡をたどりながら、作品に込められた技の数々を紐解きます。

歴代グッズが
展示で勢ぞろい！

これまでのあゆみを
総まとめ！

新作グッズも
ショップで続々販売！

参加型イベントも
企画中！

わんじま展

石川県輪島漆芸美術館 1 階  入場無料

輪島漆芸美術館公式キャラクター
「わんじま」って？

わんじまは美術館で眠っていた古い輪島塗のおわんです。ある日突然うごけるようになりまし。うれしくて倉庫をぬけだして遊びまわっていたら、美術館の職員さんにみつかってしまいました！それ以来、美術館の仲間として、みなさんに輪島塗のよさをおたえするお手伝いをしています。世界中を漆でいっぱいにするのが夢です。

年齢 約350才の江戸時代うまれ

誕生日 10月1日（いーおわんの日）

性別 男の子、5人きょうだい

性格 いなか育ちなのでのんびり屋

くいしんぼ

じまん うるしで塗られたつるつるのお肌

意外と石頭

すきたべもの とくに輪島の名産品

おくせ くだ。‐ください‐の輪島弁

わじまのおわんで
わんじまです



ミュージアムショップ からのおしらせ

わんじま展開催にあわせて
新グッズや
復刻グッズが登場！
お見逃しなく！



『わんじまの本』

(A4 変形、20 ページ)
お土産にもうれしいラッピング、
おまけのステッカー 3 枚付

トートバッグ



缶ミラー



クッキー、
チロルチョコ

わんじま展最新情報は
公式ウェブサイト、
または SNS で



Instagram



X



夜の地球
缶ミラー・缶マグネットも
販売中



第81回現代美術展 輪島展

会期 2025年7月12日(土)

7月21日(月・祝)

「現代美術展」は県内最大規模を誇る公募展であり、今年には81回目を迎えます。令和6年能登半島地震、奥能登豪雨の影響は未だ大きく、復興の道半ばではあります。多くの作家が制作に励み、輪島市からは美術文化大賞と最優秀賞受賞を含む17名が入選を果たしました。

輪島展では、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門から、重要無形文化財保持者(人間国宝)6名をはじめ地元作家の優品、及び美術文化大賞・美術文化準大賞・美術文化委嘱賞・最優秀賞・優秀賞など多彩な作品を紹介します。



▲▲第80回現代美術展輪島展
(2024年)の様子

▼2024年度寄贈作品紹介

2024年度は次の6件の寄贈がありました。
ご支援賜りました皆様に感謝申し上げます。

- ・漆屏風「笹舟」／角野岩次
 - ・見本椀各種
 - ・菊模様三方／天野文堂
 - ・鰈沈金額／舟掛道雄
 - ・象嵌装飾花文漆箱／舟掛研二
 - ・ささやき草漆象嵌茶箱／舟掛研二
- 以上、舟掛研二氏寄贈
- 慶塚大氏寄贈
矢鋪教彦氏寄贈
日吉慶子氏寄贈

美術館の近況

輪島塗大型地球儀「夜の地球 Earth at Night」は「大阪・関西万博」に出展中です。
現在美術館ではご覧いただけませんのでご注意ください。



◀搬出の様子
▼パピリオン外観



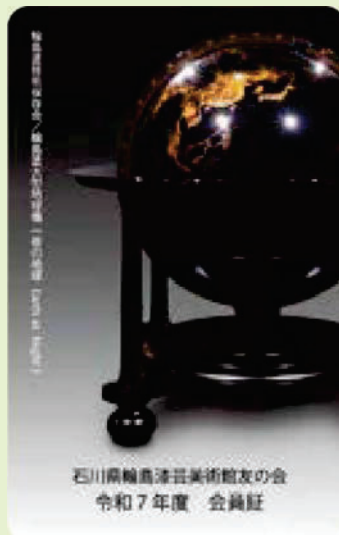
主な会員特典

- 特典1** 招待券が進呈されます。
- 特典2** 展覧会の入館料が、会員及び同伴者2名まで団体割引となります。
- 特典3** 相互割引提携館*主催の展覧会入館料が、団体割引となります。
*石川県立美術館、石川県立歴史博物館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、珠洲市立珠洲焼資料館、輪島市櫛比の庄禅の里交流館
- 特典4** 「友の会だより」「漆芸美術館だより」ほか美術館情報等の提供が受けられます。

会費

- ・個人会員（1年） 1,000円
（有効期限：4月1日～翌年3月31日）
- ・個人会員（2年） 2,000円
（有効期限：4月1日～翌々年3月31日）
- ・家族会員 2,000円
代表者と生計を共にする2名以上のご家族でご入会いただけます。
（有効期限：4月1日～翌年3月31日）
- ・賛助会員 5,000円
特に友の会の発展に協力する個人及び団体でご入会いただけます。
（有効期限：4月1日～翌年3月31日）

今年の会員証は輪島塗大型地球儀！▼



「漆の文化や、輪島の漆芸、輪島漆芸美術館にもっと親しみたい」そんなご要望をお持ちの皆様、魅力的な特典満載の「石川県輪島漆芸美術館友の会」に入会しませんか。
ご来館時に入会金を添えて入会申込書を提出することで、簡単に入会できます。ぜひご利用ください。

▼2025年度友の会会員募集のお知らせ

所蔵作品紹介

花のある景色

震災により変わりゆく景色を見つめながら、能登の風物に心を寄せてきた作家たちの作品を紹介します。

北陸の冬は曇天が多いですが、雲間に太陽が覗くと穏やかな気持ちになります。

今回ご紹介する《蒔絵箱「凜花」》は、どんよりとした寒空の下、まれに差し込む陽の光に照らされた椿を描いた作品です。作者の田中義光氏が輪島市街を散歩している時に見た、綺麗だなと思った風景をモチーフに制作しました。

本作の金地は太陽の光を、逆光で暗くなった葉を漆の黒で表しています。椿との対比を明確にするため、黒を生かした表現にこだわりました。

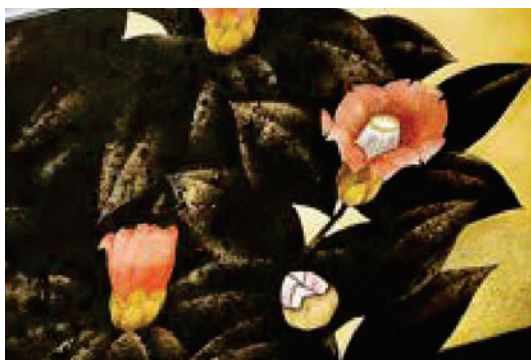
葉の表面に注目してみると、まだら模様がみえます。これはどのような技法で表現しているのでしょうか。

黒漆を塗った面にランダムに漆をつけて、黒い乾漆粉を蒔きます。その後、乾漆粉を蒔いたところに漆を塗って金粉を蒔き、漆で固めて研ぎ出します。そうすると葉の表情に変化があらわれ、独特の質感が生まれました。

輪島市内も建物の解体が進み寂しい景色が多くなりましたが、作者が目にした椿は今も変わらぬ姿で立っています。来年の冬もきっと、美しく咲き誇った姿を見せてくれることでしょう。（北澤瑞希）



モチーフとなった椿
(2025年4月27日撮影)



[部分]



田中義光《蒔絵箱「凜花」》2022年
第69回日本伝統工芸展 高松宮記念賞

施設情報

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 展示替え期間、年末休館
※その他、修繕工事のため臨時休館となる可能性があります。
来館前には当館公式ウェブサイト、SNSにてご確認ください。

交通案内 *所要時間は道路状況により前後する可能性があります

- のと里山空港から 車 (約30分)
- 金沢駅から 北鉄バス輪島特急線を利用
(輪島ふらっと訪夢 輪島駅前まで約3時間)
- 金沢市内から 車でのと里山海道を利用 (約2時間)
- 「道の駅・輪島ふらっと訪夢 輪島駅前」から 徒歩 (約25分)

入館料

	個人	団体(20名以上)
一般	630円	520円
高大学生	320円	210円
小中学生	150円	100円

〒928-0063
石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL 0768-22-9788
FAX 0768-22-9789
www.art.city.wajima.ishikawa.jp

